



# 認知症家族教室



第36回認知症家族教室を開催しました。

今回の認知症家族教室では、「水頭症」と「認知症治療薬の基礎知識」についてお話しさせて頂き、6名のご家族にご参加頂きました。

まず、井上医師から水頭症について、「水頭症とは、歩行障害や認知症状、尿失禁などの症状が現れますが、治療を行うことで認知症状の改善が期待できる病気の一つであり、治療を希望する場合は脳外科での対応になる。」という説明がありました。

中村薬剤師からは「認知症治療薬の基礎知識」について、アルツハイマー型認知症に有効なお薬の種類や適応、用法用量、効果、特徴、などについてお話しをさせて頂きました。

参加して下さったご家族から、「ちょうど先生から水頭症の診断を受け、専門的な検査が必要だと言われています。タイムリーに水頭症の話が聞けて良く理解できて良かった」という感想や「認知症の治療薬についてアリセプトという薬の名前だけは聞いたことはあったが、他にも薬があり、病名や症状によって使い分けていることを初めて知りました」との感想が聞かれました。

認知症家族教室は、今回で36回目が終了し、開始から丸3年間継続して行う事ができています。

今後も、より充実した教室にしたいと考えています。3月に開催する第39回目は、当院の外来患者のご家族にもご参加いただけるようご案内させていただきますので、参加希望のご家族は受診時に主治医にご相談ください。

来年もよろしくお願い致します。